

すそのん報道提供資料

令和6年10月23日



裾野市マスコットキャラクター

にいなめさい
宮中新嘗祭に、新米を献納

しむらしげとし
静岡県からは、裾野市の志村重利氏

宮中で行われる新嘗祭に向けて、静岡県を代表して、裾野市の志村重利氏が新米を献納しました。郵送で献納したのち、10月22日（火）に皇居で御会釈（ごえしゃく：天皇陛下がお会いになること）が行われました。

献穀にあたっては、献穀者や農業者団体、JA、行政で「裾野市献穀事業実行委員会」を組織し、5月に御田植祭（おたうえさい：田植えの行事）、9月に抜穂祭（ぬいぼさい：刈取りの行事）、10月に選米作業などを行いました。

内 容／10月10日（木） 献穀米を宮内庁に発送

献穀者（生産者）：志村重利 氏（78） 裾野市深良 在住

品種、数量 ：精米 きぬむすめ 1 升

10月22日（火） 皇居で御会釈

献穀者ご夫妻及び、随員として裾野市長が参加

ほか、献穀までの経過は別紙資料をご参照ください。

問合せ／裾野市 産業振興部 農林振興課 担当：関野

Tel055-995-1824

富士伊豆農業協同組合 なんすん営農経済センター 地区営農課

Tel055-931-3132

担当：山本

担当

裾野市 産業振興部 農林振興課

電話 055-995-1824

担当課長： 木原

担 当 者： 関野

裾野市^{けんこく}献穀事業 経過資料

【献穀について】

毎年 11 月 23 日に行われる宮中行事、新嘗祭^{にいなめさい}のための献穀は明治 25 年に始まり、全国から^{せいまい あわ}精米や粟が献納されています。静岡県では市町の持ち回りで行われており、令和 6 年度は裾野市から行いました。

献穀者 ^{しむら しげとし}志村 重利 氏（昭和 21 年 1 月生） ^{ふか ち}裾野市深良 在住

献穀田 ^{かしわざ だ}裾野市深良字柏木田

※国道 246 号沿いの食事処「うなぎの八葉」から 250m ほど西側に位置しています
品 種 きぬむすめ

【御田植祭】令和 6 年 5 月 27 日（月）

田植えにあたり、豊作を願って行われる行事



《写真 01》 御田植祭_志村重利氏と、妻の^{よしこ}美子氏



《写真 02》 御田植祭_御田植の様子

右から 2 番目 ^{しむら しげとし}志村重利氏

〃 3 番目 ^{しむら よしこ}志村美子氏（献穀者妻）

〃 4 番目 ^{しむら としみつ}志村利満氏（献穀者息子）

〃 5 番目 ^{むらた まさひろ}村田市長

【生育状況】

猛暑への対策のため、きめ細かな水管理が行われました。



《写真 03》 生育状況_8 月 10 日撮影

【拔穂祭】令和6年9月24日（火）

収穫に感謝する行事



《写真 04》 拔穂祭_神主による神事



《写真 05》 拔穂祭_刈取り作業①

右から2番目 志村利満氏（献穀者息子）

〃 4番目 村田市長

〃 5番目 志村重利氏

〃 6番目 志村美子氏（献穀者妻）



《写真 06》 拔穂祭_刈取り作業②

右から1番目 志村利満氏（献穀者息子）

〃 2番目 志村重利氏

〃 5番目 志村美子氏（献穀者妻）

【10/9 選米作業】令和6年10月9日（水）

刈取られて精米された米を選別する作業



《写真 07》選米作業_1粒ずつ選別



《写真 08》選米作業_献納する精米1升①



《写真 09》選米作業_献納する精米 1 升②

【献穀米の発送】

宮内庁から、精米は郵送で受け取るとの連絡があり、10 月 10 日に発送しました。

【御会釈】令和 6 年 10 月 22 日（火）

各都道府県の献納者らが皇居に集まり、天皇陛下がお会いになる「御会釈」が行われました。志村ご夫婦と、随員として村田市長が参加しました。また、^{たんぼ つよし}田保 豪 静岡県農林水産担当部長が、東海地方の静岡県、愛知県、岐阜県を代表して、天皇陛下に作柄を奏上しました。



《写真 10》御会釈_記念撮影①

右から 1 番目 村田市長

〃 2 番目 志村重利氏

〃 3 番目 志村美子氏（献穀者妻）

〃 4 番目 田保 豪 静岡県農林水産担当部長



《写真 11》御会釈_記念撮影②